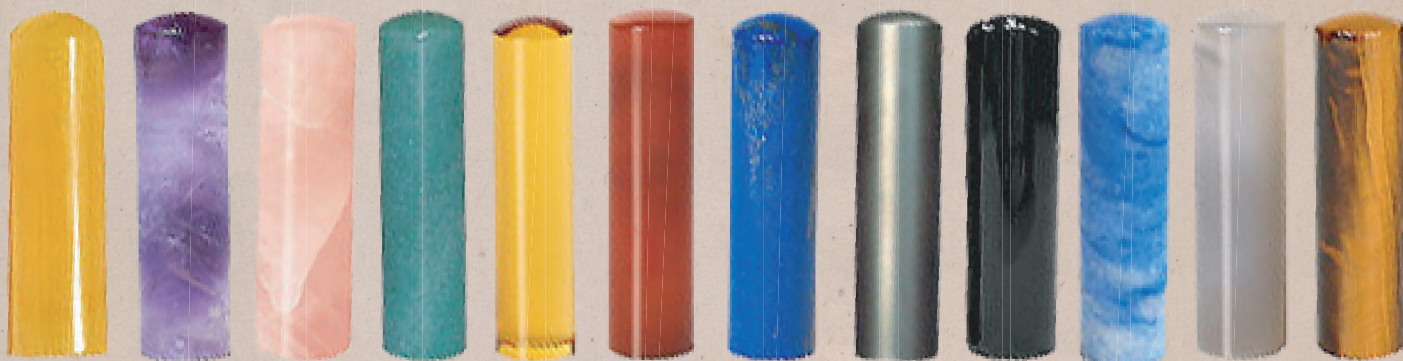


印鑑 STAMP

原始的な印章は中東の遺跡（紀元前7000年—6000年頃）から発掘されていて、紀元前5000年頃に古代メソポタミアで使われるようになったとされます。最初は粘土板や封泥の上に押すスタンプ型の印章が用いられましたが、後に粘土板の上で転がす円筒形の印章（円筒印章）が登場し、当初は宝物の護符として考案され、のち実用品になったが、まもなく当時の美意識を盛り込んだシリンダー・シールとなりました。紀元前3000年頃の古代エジプトでは、ヒエログリフが刻印された宗教性をもったスカラベ型印章が用いられたそうです。それ以来、認証・封印・所有権の証明、権力の象徴などの、目的で広く用いられました。これがシルクロードを通して古代中国に伝わったのは、かなり遅れて戦国時代初期（紀元前4、5世紀）であったといわれています。

天然石や宝石は、20～30億年前から植物や土、水など様々な成分の堆積により出来たとされています。世界各国で地層や気候、堆積年数が異なるので全く同じ物ができないため、1個1個に個性があります。美しく綺麗な石を印鑑として低価格で販売しています。なお、サイズも展開していますので、希望のサイズの天然石印鑑を使ってみてください。印鑑は一生使うことになるので、大事な鉱物で作るとずっと残ります。長く使うものだから、こだわりのものを！天然石の美しさにひかれる印鑑です。販売ページにない鉱物も加工することができますので、更にオリジナルをお求めの方におすすめです。



実印・銀行印・認印をそれぞれ別の素材でお彫りすることも可能です。

- 認印12mm 荷物の受け取りや書類全般に使える
- 銀行印15mm 金融機関に使う
- 実印18mm 市町村で印鑑を登録。人生に1本で、土地や建物の売買や登記に必要なもの



八方位とは、古代中国から伝わる易における8つの基本図の八卦（はっけ）を基に「東・西・南・北」と「北東・南東・北西・南西」の8方向に分かれている基本図です。それぞれの方位が運氣と体の部位を表します。この八方位の方角をもとに運氣を強めるために、印鑑の外側の接点を太く強く字入れしたり、接点を吉数に調整したりいたします。

印鑑はとても大事な
なもの。簡単に
作れると犯罪にも
使われるからね。



上記に記載されていない印鑑も制作加工が可能となっております。常時、原石を約20-30種類以上在庫しておりますので彫刻なども施しが可能なため、特別な印鑑の形も制作することができます、まずはお問い合わせください。